

 市場価格

ドル建て ドル/toz

Platinum	Price	Date
Open	883.50	2023/10/9
High	898.60	2023/10/12
Low	865.39	2023/10/13
Close	885.00	2023/10/13

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4234.00	2023/10/9
High	4305.00	2023/10/12
Low	4162.00	2023/10/13
Close	4254.00	2023/10/13

ドル建て ドル/toz

Palladium	Price	Date
Open	1158.00	2023/10/9
High	1186.10	2023/10/11
Low	1117.00	2023/10/10
Close	1147.88	2023/10/13

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	5553.00	2023/10/9
High	5684.00	2023/10/11
Low	5354.00	2023/10/9
Close	5538.00	2023/10/13

 ニュースエクスプレス**ジョンソン・マッセイ、クリティカルミネラルアソシエーションに参加**

ジョンソン・マッセイは、英の重要鉱物産業界と政府の連携を図る団体であるクリティカルミネラルアソシエーション (CMA)に参加する。同社は世界最大のPGMリサイクル業者であり、PGM 触媒の分野でも世界トップで、そのノウハウを活かして重要鉱物に関する政策立案を助け、重要鉱物のバリューチェーン全体を活性化させる。

PGM は様々な産業にとって価値が高い原料で、燃料電池、水電解装置、再生航空燃料など、ネットゼロへの転換に重要な役割を果たす。重要鉱物は埋蔵量が限られているため、現在の、そして将来の需要を満たすためには再利用することが非常に重要だ。

ジョンソン・マッセイはCMA を通じて当局や他の産業界のリーダーらに対してPGM の戦略的価値についての知識を高め、PGM のサプライチェーンと将来の展望などについて有意義なアドバイスを提供できる。政府のクリティカルミネラル戦略の発表に続き、同社は PGM の資源循環性とその広範なネットワークにおける英国の役割について助言する。

同社の Industrial PGM Market Research Manager であるMarge Ryanは、「CMA に参加することで、重要鉱物において我々が世界各国の政府と協力していく体制が可能になる。政府のクリティカルミネラル・タスクフォースとクリティカルミネラル・エキスパート委員会を初め、世界経済フォーラムの重要鉱物ワーキンググループなどに参加していく。」と語った。

<https://matthey.com/en/media/2023/jm-joins-the-critical-minerals-association>**燃料電池トラックの実用性、証明される**

独ダイムラー・トラックの燃料電池大型トラックは、満タンの水素燃料タンク一個のみで、ディーゼルで走る大型トラックと同等の航続距離1046 キロを達成し、同社は、燃料電池トラックはバッテリー電気自動車とともに長距離輸送に十分活用できるとしている。燃料電池トラックは、大型バッテリーの重量による収容減速の法則の影響を受けないため、ほとんどの電気トラックよりも長い航続距離を誇り、大型トラック分野では燃料電池パワートレインが早く普及するとされている。燃料電池自動車のプラチナ需要は、政府などが定めるバッテリー電気自動車政策のために減っていく自動車触媒のプラチナ需要を相殺できるとされる。水素関連のプラチナ需要はコロナ以前の水準から2倍以上に増えており、今年は約3.1トンに達し、今後5年間で急増するとされる。

https://www.heraeus.com/media/media/hpm/doc_hpm/precious_metal_update/en_6/Appraisal_20231009.pdf#modyentryid=Q9W8CQjqsR9K2hooZqm80mg8Ss46dn_kq1vC9k**アムブラッツ CEO、メタル価格は 15% ~ 20%回復**

アングロ・アメリカン・プラチナのCEO、Craig Miller氏は、PGMは今の価格の15% から 20% 回復するとし、バスケットの中のいくつかのメタルは「恩恵を打った。」としている。

「一時的に恩恵を打ったメタルがあるが、今後も必ず変動があるだろう。」今は 15% から 20% 回復する時期だ。プラチナは再評価されるだろう。パラジウムへのプレッシャーはなくなるらない。ロジウムは何らかの形で再評価されるだろう。」と同氏は先週、ヨハネスブルグのサントンで行われたJoburg Indaba でのインタビューで語った。

<https://www.mining.com/top-story/54679-amp/its-ceo-says-metals-to-recover-15-to-20-as-market-prices-rise/>

Translated by Kazuko OSAWA

 WPIC直近の活動

プラチナは長い間取引されてきたコモディティーであるが、水素経済という新しい分野での大きな需要に期待が持てるという点で唯一のコモディティーと言える。脱炭素化の必要性がますます重要になっている今、プラチナベースの固体高分子膜 (PEM) 技術は、エネルギー転換に欠かせない役割を果たす。

プラチナはその化学的、物理的特質からPEM技術を利用する分野の最先端で使われている。水素を生産する水電解装置、そしてエミッションフリーの燃料電池自動車動かす燃料電池の両方にPEM技術が使われる。

水素関連のプラチナ需要は2023年の現在まだ少ないが、2020年代を通じて大きく増えると期待されており、2040年までにはプラチナの年間需要の35パーセントにもなるとされる。詳しくは以下をご覧ください。

<https://market-news-insights-ipc.com/ose/commodities/article005921/>

免責事項: 本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資推薦を表明するものではありません。また、そのように解釈されるべきでもありません。